



カラーバージョン見ると
福間中学校ホームページへ



授業で使った、日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~ 負のスパイラルを断ち切るために~」はこちらから見ることができます。



感染症の適切な向き合い方について考えを深めました

第1の“感染症”は 病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

9月22日(水) 感染症の3つの側面(病気・不安・差別)について知り、それぞれに対してどう向き合い、行動していくべきかについて考えを深めました。

第1の“感染症”をふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

- 「手洗い」
- 「咳エチケット」
- 「人混みを避ける」

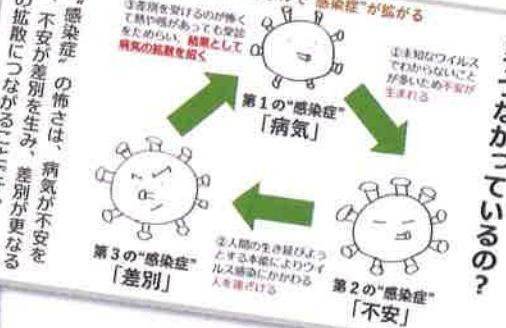
など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。



第2の“感染症”は 不安と恐れです

このウイルスは見えませんが、ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまっていることがあります。それは私たちの心の中でふくらみ、気づく力、聴く力、自分を支える力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。



第2の“感染症”にふりまわされないために

不安や恐れは私たちの

- 気づく力
- 聴く力
- 自分を支える力

を弱めます。不安や恐れは身を守るのに必要な感情ですが、私たちが力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。



第3の“感染症”は 嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

特に、新型コロナウイルス感染症やワクチン接種などに関連した差別について知り、他者を尊重し生活するうえで、私達に何ができるのか、どうあるべきかについて学びました。

第3の“感染症”をふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

- 小さな子どもがいる家庭
- 高齢者
- 治療を受けている人とその家族
- 自宅待機している人
- 医療従事者
- 日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々に、**ねぎらい、敬意を払いましょう。**

